

第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する添田町が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1. 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 平成 31 年 3 月 15 日
作成担当部署 添田町地域産業推進課林業振興係

2. 第三セクター等の概要

法人名	株式会社ウッディー
代表者名	林 雅 文
所在地	福岡県田川郡添田町大字野田 1927
設立年月日	平成 4 年 8 月 20 日
資本金	50,000 千円
	【添田町の出資額（出資割合） 22,000 千円（44%）】
業務内容	森林の保育管理及び林産物の生産加工販売 素材生産搬出に関する業務

3. 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

平成 3 年の台風による甚大な森林被害を復旧するため株式会社ウッディーが設立されたが平成 9 年度以降、公共工事の減少、木材価格の低迷で経営が厳しくなった。また、伐期を迎えた森林資源を利用して林業活性化を図ることを目的に平成 11 年に国産材加工場を設置し、新たな事業を展開したが、国産材の価格の低迷により経営を安定させることができなかった。このような状況により、損失補てん、設備設置への補助を目的として添田町が貸付金として支援を行っており、債務超過の原因となっている。

平成 23 年には、大手製材業者の支援を受け加工販売業務の経営改善が進められたが、平成 26 年に企業の突然の撤退により会社は休止状態となり、新たな経営支援先を探さざるを得なくなった。平成 29 年より支援企業が決定し、筆頭株主となって経営再建に向け事業を再開している。

4. 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

本町の森林は、総面積の 84% を占め、収穫期に達した森林も多く、今後、間伐とともに主伐による森林の世代サイクルを推進しなければならない。町内では、添田町森林組合がその一翼を担っているが、広大な森林面積のため、近年は近隣の民間事業体による無計画な大規模伐採が目立っている。

環境保全や防災対策など森林の持つ公益的、多面的な機能を発揮するための森林整備を推進している本町としては、株式会社ウッディーの本格的な事業参入により添田町森林組合と共に 3 者で計画的な森林整備が必要となってくる。

また、福岡県森林環境税事業に加え、平成 31 年度より国の森林環境税事業による森林整備が始まるため、公共事業を担える事業体として株式会社ウッディーの事業再開は重要となる。

そのためにも、株式会社ウッディーでは、森林整備事業の雇用及び人材育成、生産加工事業では数年間稼働していなかった加工設備の点検、整備を進めている。また、今後の経営改善に向けた事業計画、収支計画を策定するよう指導している。

5. 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

新たな企業支援による経営再建が始まっているが、人材を含め社内体制が完全に整っておらず安定した経営までには時間を要す状況である。それまでの間は貸付金償還を延期し、会社の負担を軽減する必要がある。

事業については、生産加工事業には人材・設備整備に加え、安定した原木量が必要なため、まず、素材生産等の森林整備事業を優先的に事業展開して経営を安定させ、原木確保に努め、原木価格、商品価格の変動を見極めながら生産加工事業の再開時期を検討し、今後5年間で単年度での黒字化を目指す。

財政支援については、原則行わないこととするが、事業展開に必要な整備等については、内容を精査のうえ、適正な支援を行う。

(参考)

6. 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額（千円）		
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	資産総額	27,470	39,239	23,182
	（うち現預金）	（ 12,494）	（ 23,776）	（ 6,915）
	（うち売上債権）	（ 214）	（ ）	（ 7,070）
	（うち棚卸資産）	（ ）	（ ）	（ ）
	負債総額	85,163	85,279	91,487
	（うち添田町からの借入金）	（ 85,014）	（ 85,014）	（ 85,014）
	純資産額	△57,693	△46,040	△68,305

損益計算書から	項目	金額（千円）		
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	経常収益	△4,655	△3,505	83,347
	経常費用	4,871	4,959	107,230
	経常損益	△9,526	△8,464	△23,882
	経常外損益	0	300	1,800
	当期純損益	△9,708	△8,346	△22,264